

脊髄損傷者の歩行機能 再獲得を目指して

—再生医療とリハビリテーション技術の融合—

入場無料
申込不要

2019年

1月25日 金

17:00 ~ 18:30

会場 糸島市健康福祉センターふれあい
1階 健診・研修室
〒819-1312 糸島市志摩初1番地



講師

河島則天氏

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
運動機能系障害研究部神経筋機能障害研究室長
専門分野：神経科学・リハビリテーション科学

プロフィール

- 2000年 金沢大学大学院教育学研究科
保健体育専攻 修了（教育学修士）
- 2000年 国立身体障害者
リハビリテーションセンター研究所 技術員
- 2002年 同 流動研究員
- 2005年 芝浦工業大学
先端工学研究機構 助手
（同年 論博にて博士号取得）
- 2006年 日本学術振興会・海外特別研究員
（所属先：カナダ・トロントリハビリテーション研究所）
- 2008年 日本学術振興会・特別研究員SPD
（所属先：国立障害者リハビリテーションセンター研究所）
- 2009年 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
研究員
- 2012年 同 神経筋機能研究室長

講演概要

ここ数か月のうちに、間葉系幹細胞を使った細胞製剤の薬剤収載、iPS細胞の臨床試験承認の見通しなど、脊髄再生医療の臨床応用に関するニュースが相次いで報じられた。再生医療の実現可能性については、10年ほど前の時点ではリハビリテーション現場への応用を現実的なものとして認識するには程遠かったことは言うまでもないが、おそらく現時点でも臨床の肌感覚としては、臨床を大きく変えるもの（あるいは現実的に理学療法の主流となるもの）という認識にまでは至っていないものと思われる。私たちの研究およびアウトリーチのスタンスは、科学的知見や先進技術が臨床現場での問題解決にうまく援用されていくような『伏線』を敷くことであり、これまで臨床現場と近い距離感で、リハビリテーション技術の開発や効果検証を行ってきた。本講演では、掲題の『脊髄損傷者の歩行機能再獲得』に向けたこれまでの研究の経緯を紹介し、再生医療とリハビリテーション技術の融合によってより効果的に機能改善を導いていくための戦略とビジョンについて、一考察を試みたい。

お問い合わせ

ふれあいラボ（九州大学ヘルスケアシステムLABO糸島）
糸島市志摩初1 健康福祉センターふれあい1階

TEL: 092-327-8181